

第14回「森林を考える岡山県民のつどい」が10月26日にグリーンヒルズで開催されました

津山鶴丸太鼓によるオープニングに始まり、林野庁林政部木材利用課長 阿部勲氏による「我が国における木材利用促進施策について」と題した基調講演が行われました。その後、岡山県森林組合連合会代表理事会長 井手紘一郎氏、津山地区木材組合理事長 難波芳英氏、講師の阿部勲氏、岡山県森林・



林業活性化促進議員連盟 会長 戸室敦雄氏、岡山県英田郡西粟倉村長 青木秀樹氏による「森林整備と木材の活用促進について」をテーマにパネルディスカッションが行われました。また、苗木の無料配布、親子ふれあいコーナー、特産品の販売もあり、たくさんの人出でにぎわいました。

9月定例会に提出された請願の審議結果

- 「地方財政の充実・強化を求める意見書提出について」の請願 → 継続審査
- 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択の要請について → 継続審査
- 消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する請願 → 継続審査

8月臨時会で同意した人事案件

8月臨時会では、1件の人事案件が提案され、次のとおり同意することを決定しました。監督委員の選任について

津山市田熊1742番地 久常勝實(68歳) (※年齢は議決日(8月23日)時点です。)

9月定例会で同意した人事案件

9月定例会では、1件の人事案件が提案され、次のとおり推薦することを決定しました。人権擁護委員候補者の推薦について

津山市南方中1814番地5 橋本真弓(56歳) (※年齢は議決日(9月25日)時点です。)

表紙写真について

久米保育所に通園している園児(児童)は165人です。今回は4歳、5歳児(75人)を撮影させていただきました。保育目標は「基本的生活習慣を身につけ、自主的に行動できる子ども」「健康でのびのびとした明るい子ども」などとされています。

院庄幼稚園に通園している園児(児童)は13人です。教育目標は、「自分で考えて行動し、思いやりあふれる幼児の育成」で、「健康で安全な生活をするための基本的生活習慣や規範意識を育てる」などを指導の重点にされています。

二宮幼稚園に通園している園児(児童)は17人です。教育目標は「自らの力で未来を創造する子どもを育てる」で「心豊かな子ども」「仲良く遊べる子ども」「やりとげる子ども」を指導の重点にされています。

編集後記



昨年の9月から議案質疑並びに一般質問で導入された一問一答方式。9月議会では、23名の議員の内、半分の11名が一問一答方式を選択しました。質問と答弁が連続するのでわかりやすいと言われる一方で、「踏み込んだ質問をする場面が少ない」「横道にそれる」などの課題も見えてきました。論点を絞り込み、議員個々の「質問力」の強化が求められています。

9月28日(議会最終日翌日)に、第2回の議会報告会を各常任委員会の班構成(4会場)で開催しました。報告会で出されたご意見、アンケートの集計結果をもとに、議会の「見える化」をさらに進めてまいります。ご出席いただいた市民の皆様、ありがとうございました。(伸)

毎年、「今年暑いですね。」があいさつことばになっています。今年はこのほか暑かった！お米の出来も今一つが。命を支える農業への施策が必要です。(節)

外国映画でいつか見た竜巻。国内でもと、このところの風水害はケタ外れ。想定外といながらも他所・人事ではない。対応には行政も大変だ。被災の方々にお見舞い申し上げます。(靖)

広報調査特別委員会メンバー

- ◎ 末永弘之 ○ 安東伸昭
- 秋久憲司、岡田康弘、岡安謙典
- 黒見節子、竹内靖人、吉田耕造